



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～

中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ **あ**りがとう **あ**きらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

未来の自分を描いて！「夢授業！」（6年生）



1月20日（月）に6年生の子どもたちは「夢授業」を受けました。この「夢授業」はキャリア教育の一環として様々な職業人の方々をお招きして、それぞれの仕事について直接お話を伺うものです。体育館に設けられた各ブースの中から、各自が選んだ5つの職業を回ります。実際に接することがある職業だけでなく、初めて知った職業もあり、興味関心をもって職業人の方を見て、うなずきながら熱心に話を聞く姿が見られました。多くの方のご協力によって実現した『夢授業』。感謝しています。

古都の歴史を学ぶ！（4年生）



1月21日（火）に4年生の子どもたちは「昔のよさを伝えるまちづくり」に取り組んでいる太宰府市を社会見学で訪れました。当日は、晴れていたためか、寒くなく、天候に恵まれていました。初めの見学地は、学問の神様として有名な菅原道真公を祀った太宰府天満宮でした。ここでは、4人のガイドさんから、道真公が天満宮の下に埋葬されたことや、牛が座り込んだ場所に建てられたこと、飛梅の言い伝え、太宰府市の景観に配慮したまちづくりなど、興味深いお話を聞きました。子どもたちは、質問したり話を伺ったりしながら、しっかりとメモを取っていました。その姿に、学習に対する意欲の高さを感じさせられました。また午後からは、古都大宰府保存協会の学芸員の田中先生から、当時大宰府が、九州の政治の中心であったこと、諸外国との窓口であった大宰府の役割や当時の建造物について、また坂本八幡宮で大伴家持が詠んだ歌から「令和」の元号が誕生したことなど、たくさんのお話を伺うことができました。子どもたちは、太宰府愛にあふれる田中先生が、実は、社会科の教科書にも登場するほどの専門家だということに、驚いていました。機会がありましたら、ぜひ太宰府市の史跡等お子様といっしょにめぐっていただけたらと思います。

当日は、お忙しい中、お弁当の準備などありがとうございました。